

第 33 回（令和 6 年度第 1 回）公立大学法人 公立小松大学 理事会 議事概要

1 日時 令和 6 年 6 月 26 日（水）15 時 48 分～16 時 00 分

2 場所 中央キャンパス 2 階 会議室

3 出席者

石田理事長、山本副理事長（学長）、志村理事（副学長）、千葉理事（事務局長）、
西理事、森理事、松本監事、能登監事

欠席者

鈴木理事

4 議事

(1) 前回議事録の確認

石田議長より前回の議事録について説明があり、原案どおり承認された。

(2) 審議事項

① 令和 5 年度事業報告書について

中野事務局次長兼総務課長より、資料 2 に基づき令和 5 年度事業報告書について説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。

② 令和 5 年度決算について

吉田事務局次長兼財務課長より、資料 3 に基づき令和 5 年度決算について説明があり、原案どおり承認された。

③ 監査結果報告について

能登監事より、資料 4 に基づき監査結果の報告があった。

④ 令和 5 年度業務実績報告書について

山本副理事長より資料 5 に基づき全体評価及び教学に関する大項目別評価について、千葉理事より経営に関する大項目別評価について説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。

⑤ 第 1 期中期目標期間業務実績報告書について

山本副理事長より資料 6 に基づき全体評価及び教学に関する大項目別評価について、千葉理事より経営に関する大項目別評価について説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。

⑥ 職員懲戒処分の審査等に関する調査委員会の報告について

志村理事より、職員懲戒処分の審査等に関する調査委員会の結果について報告があった。これに対して能登監事より、令和5年度業務実績報告書にハラスメント対応の記載の有無について質問があり、中野事務局次長兼総務課長より、臨床心理士による学生相談の実績の記載はあるが、ハラスメントに関する相談の有無について保健管理センターに問い合わせたところ、実績がなかったため記載していないと回答があった。続いて千葉理事より、ハラスメント相談員は各学科に配置しているが、相談実績がなかった一方でこのようなハラスメントが発生し、大学が把握できていなかったことは反省すると補足があった。また能登監事より、学生がハラスメントに対する声を上げる仕組みづくりを強化する必要があると指摘があり、これに対し志村理事より、自信がなくても安心して相談できる環境を整備すると返答があった。また森理事より、当該教員の退職金の支払いについて質問があり、志村理事及び千葉理事より、懲戒解雇以外は退職金を支払うことになっているので、今回は退職金を支払うと回答があった。最後に松本監事より、相談された教員の対応についても二重ハラスメントになり兼ねないため、対策を練る必要があると指摘があった。審議の結果、原案どおり承認された。

(3) 報告事項

① 大学の近況について

山本副理事長より、大学案内及び研究シーズ集・研究者要覧に基づき公立小松大学の近況について報告があった。

② 公立小松大学中央第2キャンパス（仮称）の開設について

中野事務局次長兼総務課長より、資料7に基づき公立小松大学中央第2キャンパス（仮称）の開設について報告があった。

以 上